

出題意図(学校推薦型選抜:総合問題)

福島県立医科大学保健科学部では、本学保健科学部アドミッションポリシーで示している「求める学生像」に合致し、専門医療技術者として必要な基礎学力を有する学生を求めています。そのため、入学後の修学において必要な基礎学力を測るための試験を課しています。

| | |
|------|--|
| 受験番号 | |
|------|--|

〔 I 〕

問1

who was about to start school

問2

男だからこうすべき、女だからこうすべき、ということ。

問3

「女性は数字（数学）が苦手だ」という偏見を意識させられると、女性は数学のテストで低い点数をとる傾向にあること。

問4 4

問5 (i) at (ii) of (iii) in (iv) to

問6 1 4

| | |
|---|---|
| 計 | 点 |
|---|---|

| | |
|------|--|
| 受験番号 | |
|------|--|

〔Ⅲ〕

問1 (a) ○ (b) × (c) ○ (d) × (e) ×

問2

| | |
|-------------------------|-----------------------|
| 1) 老年人口割合が生産年齢人口割合を上回る年 | 2) 2070年の福島県の老年人口の推定値 |
| 2087 年 | 47.1 万人 |

1) の計算式

老年人口割合の式が $y = 0.277x + 29.0$ 、生産年齢人口割合の式が $y = -0.191x + 59.9$ であるので

老年人口割合が生産年齢人口割合を超えるのは $0.277x + 29.0 > -0.191x + 59.9$ より $0.468x > 30.9$ で

$x > 66.025$ となる。小数点以下を切り上げると67年後となる。

2020 + 67 = 2087年より、2087年に老年人口割合が生産年齢人口割合を上回ることとなる。

(なお、>の不等号は=や \geq でも可とする。)

2) の計算式

2020年から2070年までは50年間である。

この50年後の老年人口割合を求めると、問いの式より $y = 0.277 \times 50 + 29.0 = 42.85$ となり42.85%となる。

2070年の福島県の総人口が110万人であることより、老年人口は110万人の42.58%であるので、

$110 \times 0.4285 = 47.135$ となり小数第二位を四捨五入すると47.1万人となる。

問3

| | | | | |
|-----|-----|----|----|----|
| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 散布図 | 直線上 | 相関 | 差異 | 2倍 |
| ⑥ | ⑦ | | | |
| 高齢者 | 正 | | | |

| | |
|---|---|
| 計 | 点 |
|---|---|